≪　4月16日～30日の国内外外国為替市場動向　≫

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/04/16 (水)	東京はWSJ紙の報道を受けて円買い優勢。機関投資家によるｸﾛｽ円の売りも断続的に。 欧米は中国利下げを受けて円は続伸。しかしｲﾝﾃﾙなど発表された米決算が良好で流れが一変。	・3月の英失業率2.5%、同失業者増減▲1200人 ・人民銀が預金準備率0.5%引上げ ・3月の米CPIは0.3%、同住宅着工件数94.7万戸、同鉱工業生産0.3%、同設備稼働率80.5%	・WSJ「ﾒﾘﾙﾘﾝﾁが60～80億ﾄﾞﾙの追加損失計上か」 ・日銀総裁「為替相場はﾌｧﾝﾀﾞﾒﾝﾀﾙｽﾞを反映することが重要」 ・米地区連銀報告「米経済状況は2月以降衰えた」	101.70 101.89 100.83 101.84	160.55 162.50 160.44 162.40	寄付 安値 高値 終値
08/04/17 (木)	東京は米銀の資本増強報道などを受けて株価が強含み。為替市場も円売り進む。 欧米は発表された米経済指標は悪くﾄﾞﾙ売り要因。しかしﾕﾝｹﾙ発言を受けて対ﾕｰﾛ中心にﾄﾞﾙ反発へ。	・JPﾓﾙｶﾞﾝが60億ﾄﾞﾙの資本増強報道、ﾌﾚﾃﾞｨﾏｯｸの大口住宅ﾛｰﾝ向け資金の拡大報道、ｼﾃｨの巨額追加損失の噂など ・4月の米ＦＦ連銀指数▲24.9%、3月の米景気先行指数0.1%	・独連銀総裁「為替相場には過剰な変動がみられる」 ・ﾕﾝｹﾙﾕｰﾛ議長「市場はG7声明を完全に理解していない」 ・ﾀﾞﾗｽ連銀総裁「利下げに強い躊躇」	101.85 102.73 101.70 102.43	162.35 163.24 162.16 162.94	寄付 安値 高値 終値
08/04/18 (金)	東京は夜半に発表されるｼﾃｨGの決算をにらみ売買手控えﾑｰﾄﾞ。ﾚﾝｼﾞ内での揉み合い推移。 欧米は発表されたｼﾃｨGの決算が赤字となるなど冴えなかったものの、それでも予想より良くﾄﾞﾙ買い材料。		・日銀総裁「先行きの経済・物価見通しなどを見極めたうえで適切に判 ・FF連銀総裁「金利水準は景気刺激に十分」 ・ｵｰｽﾄﾘｱ中銀総裁「利上げは除外せず、利下げの余地なし」	102.39 104.66 102.25 103.67	162.86 164.68 162.67 163.99	寄付 安値 高値 終値
08/04/21 (月)	東京は久しぶりの104円台ということで輸出企業などからのﾄﾞﾙ売り意欲旺盛。ﾄﾞﾙは小安い。 欧米は注目されたBOAの決算が予想を下回りﾄﾞﾙ売り要因。一方、IMF欧州局長発言からﾕｰﾛ冴えない。	・2月の第3次産業活動指数▲1.7%、同景気先行指数改定値54.5% ・BOE「商業銀行保有ﾓｰｹﾞｰｼﾞ債と500億ﾎﾟﾝﾄﾞの国債は交換提案」	・ﾃﾞｯﾌﾟﾗｰIMF欧州局長「ECBは利上げの必要なし」 ・独連銀総裁「ｲﾝﾌﾚはECBの容認水準を大きく上回っている」	103.88 104.07 102.98 103.27	164.21 164.86 163.86 164.32	寄付 安値 高値 終値
08/04/22 (火)	東京はﾙｸｾﾝﾌﾞﾙｸﾞ中銀総裁発言で一時ﾕｰﾛが急騰。しかし独系銀破綻の噂から結局行って来い。 欧米は米経済指標が冴えないなか、連銀関係者のﾊﾄ派発言からﾄﾞﾙは弱含み。	・独住宅金融銀行に経営破綻の噂 ・ｶﾅﾀﾞが翌日物貸出金利を0.5%引き下げへ ・3月の米中古住宅販売493万戸、2月の米住宅価格指数0.6%	・ﾙｸｾﾝﾌﾞﾙｸﾞ中銀総裁「ECBは利上げが必要かどうか毎月検討する必 ・ﾐﾈｱﾎﾟﾘｽ連銀総裁「ｲﾝﾌﾚは緩和を予想」 ・ECB関係者「現時点で利上げを予想するのは困難」	103.18 103.55 102.67 103.03	164.21 164.94 163.29 164.76	寄付 安値 高値 終値
08/04/23 (水)	東京はﾕｰﾛｸﾞﾙｰﾌﾟ議長の発言からﾕｰﾛが対ﾄﾞﾙなどで冴えない。ﾄﾞﾙ/円はﾚﾝｼﾞ内で小動き。 欧米はBOE議事録が予想よりﾀｶ派でﾎﾟﾝﾄﾞ買い優勢。ﾄﾞﾙ/円は米株の動向にらみで一喜一憂。	・3月の貿易収支1兆1186億円 ・4月のBOE議事録「6:3で0.25%の利下げを決定」 ・中国が株取引の印紙税率を0.1%に引き下げ決定	・仏欧州問題担当相「ﾕｰﾛ相場は懸念すべき水準」 ・ﾕｰﾛｸﾞﾙｰﾌﾟ議長「為替に関するG7声明は非常に明確」 ・独経済相「独は強いﾕｰﾛにこれまでうまく対処している」	102.92 103.79 102.75 103.37	164.41 164.98 163.81 164.24	寄付 安値 高値 終値
08/04/24 (木)	東京はM&A絡みのﾄﾞﾙ買いに加え、WSJ紙の報道を受けてﾄﾞﾙ買い優勢。ただ104円には届かず。 欧米は独IFO指数が悪化したうえ、ﾄﾘｼｪ発言を受けてﾕｰﾛが冴えない。ﾄﾞﾙは米株高に支えられしっかり。	・WSJ「FRBは4月利下げ実施後、利下げは休止される可能性がある」 ・4月の独IFO景気指数102.4 ・2月のﾕｰﾛ圏経常収支50億ﾕｰﾛ ・3月の米耐久財受注▲0.3%、同新築住宅販売52.6万件	・NZ中銀総裁「NZ経済は予想以上に減速している」 ・ﾕｰﾛｸﾞﾙｰﾌﾟ議長「露などが外準の通貨構成を変えることを望まない」 ・ECB総裁「通貨市場では急激な変動が見られた」	103.48 104.55 103.32 104.25	164.33 164.53 162.91 163.50	寄付 安値 高値 終値
08/04/25 (金)	東京はｽﾏｷﾞ発言を受けてﾕｰﾛが続落。一方、株価が300円以上上昇したことで円売り優勢。 欧米はﾄﾞﾙが続伸してｽﾀｰﾄしたが105円には届かず。しかし地政学ﾘｽｸの高まりから103円台へ。	・3月の消費者物価指数1.2% ・第1四半期英GDP速報値0.4% ・米軍海上輸送司令部契約の貨物船がｲﾗﾝ国籍の小型船に威嚇射撃 ・4月のﾐｼｶﾞﾝ大消費者信頼感指数62.6	・ｽﾏｷﾞECB専務理事「最近の為替ﾚｰﾄの変動を懸念」 ・ｽﾍﾟｲﾝ中銀総裁「原油高による第2次影響は今のところ見られず」	104.36 104.82 103.90 104.43	163.59 163.83 162.67 163.24	寄付 安値 高値 終値
08/04/28 (月)	東京のﾄﾞﾙ/円はもみ合い。ﾕｰﾛは独やﾕｰﾛ圏の経済指標や物価指数を受けて激しい上下動 欧米はﾄﾞﾙ高値圏で寄り付くも、ﾊﾞﾌｪｯﾄ発言やS&Pの発表からﾄﾞﾙ売り優勢。ただ104円は割り込まず。	・S&P「大手米銀の格下げﾘｽｸ上昇」	・ECB総裁「中期的に物価安定にとって上振れﾘｽｸがある」 ・OPEC議長「原油相場が200ﾄﾞﾙに上昇する可能性も排除せず」 ・ﾊﾞﾌｪｯﾄ氏「経済はいま、ﾘｾｯｼｮﾝにある」	104.66 104.83 104.08 104.18	163.46 163.90 162.85 163.11	寄付 安値 高値 終値
08/04/29 (火)	ｱｼﾞｱﾀｲﾑは東京休場で小動き。そのなか発表されたﾄﾞｲﾂ銀行の決算が悪くﾕｰﾛは冴えない。 欧米は発表された米経済指標が悪くﾄﾞﾙ売り優勢。しかしｼｮｰﾄｶﾊﾞｰから結局行って来い。	・一部報道「OPECは次回会合を前に増産検討のための臨時会合を開く可能性」 ・2月の米S%P/ｹｰｽｼﾗｰ住宅価格指数▲12.7%、4月の消費者信頼感指数62.3	・ﾌﾞﾗﾝﾁﾌﾗﾜｰBOE委員「ﾎﾟﾝﾄﾞはさらに下落する可能性」 ・ECB総裁「為替市場の変動を懸念」	104.10 104.37 103.22 104.02	162.99 163.22 161.10 161.96	寄付 安値 高値 終値
08/04/30 (月)	東京は月末仲値不足でﾄﾞﾙ高優勢。しかし、その後は機関投資家の売りなどから安値引け。 欧米は発表された米経済指標が総じて良好となりﾄﾞﾙ高優勢。1円以上のﾄﾞﾙ高。ただ米利下げを受けてﾄﾞﾙは再び急落へ。	・3月の完全失業率3.8%、同鉱工業生産▲3.1% ・4月ADP全米雇用報告1.0万人、同ｼｶｺﾞPMIは48.3、第1四半期GDP速報値0.6%、同個人消費速報値1.0%、同ｺｱPCE価格指数速報値2.2%、同雇用ｺｽﾄ指数0.7%	・日銀決定会合で全員一致で現行の金融政策維持を決定 ・日銀総裁「循環ﾒｶﾆｽﾞﾑ、足元は弱まっている」 ・FOMCで0.25%利下げ実施、声明は「成長、価格安定促進のため必要とあれば行動」	103.91 104.89 103.70 103.92	161.85 163.00 161.60 162.33	寄付 安値 高値 終値

＊製作・著作；「FXニュースレター」　　URL；　http://www.fx-newsletter.com/